

Eastspring Asia Now

Vol.43

肌で感じたジャカルタ訪問記Ⅱ

eastspring
investments

アジア大会後のインフラと発達する電子マネー

11月上旬、弊社社員がインドネシアのジャカルタを視察しました。本レポートでは、アジア大会後のジャカルタのインフラ整備状況や市民の生活に欠かせないサービスになりつつある電子マネーの今を報告いたします。

- ▶ ジャカルタでは、今年8月にアジア版オリンピックと言われるアジア競技大会が行われ、インフラ整備が急ピッチで行われました。今回の訪問時では、すでにジャカルタにおいて都市高速鉄道（MRT）の地上部分の建設工事はほぼ完了しており、渋滞悪化の原因となっていた車線数の減少は解消されていました。
- ▶ アジア競技大会のために整備されたインフラが市民生活に活用されている様子も見ることができました。競技場周辺を巡回する無料バスとして導入されたメトロトランスは、現在では運賃3,500ルピア（約27円）で市民の足として市内を走っています。また、メイン会場として改築されたゲロラ・ブン・カルノスタジアムを訪れた日には、海外の有名なロックバンドのライブが開催されていました。



スタジアム前で記念撮影をする人達



スタジアムの側の電光掲示板。大気汚染の度合いを表示しているとのこと。



市内のあちこちに、MRTの開通を待つ駅の入り口が建設されていました。



トランスジャカルタとは違い、専用レーンではない車線走るメトロトランス。

日本よりも身近な電子マネーサービス

- ▶ ゴジックはインドネシアで有名な配車アプリで、市内の至る所でゴジックのバイクタクシーを見かけますが、配車サービス以外にもフードデリバリーやオンラインショッピング等、様々なサービスをアプリで手軽に利用することができます。多くの人が通勤に配車アプリを利用していることもあり、ジャカルタの人々の間ではアプリサービスが一般化しています。
- ▶ ゴジックが提供するアプリ「ゴーペイ」という電子マネーサービスも広く普及しています。QRコードを読み込めば支払いが出来るため、屋台等でも電子マネーに対応しています。観光地となっているモナス（独立記念塔）には、電子マネー専用の飲み物の自動販売機がありました。



（左）様々なサービス機能があるゴジックアプリ。
（下）屋台に貼られたQRコード。電子マネーにも対応。

インドネシア人は日本食が大好き！？ ジャカルタ食レポート



日本食のレストランがたくさんありましたが、特に混んでいたのはトンカツ屋。ただ、よく見るとイスラム教徒を意識したチキンカツのメニューがほとんどでした。



コンビニで売られていた大量のヤクルト。ホテルの朝食のブッフェでも提供されていました。インドネシアでもヤクルトレディが販売を行っているとのこと。



（写真は全て弊社社員が撮影）

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。
*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード（アジアインベスター誌選出、2017年度対象）をイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが受賞。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞*
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に3度目の受賞